



豊かな対話ができる子どもたち — チャレンジ精神と豊かな体験を大切に —

校長 後明 好美

新年を迎えてから新型コロナウイルス感染症の感染拡大が勢いを増し、子どもたちが安全かつ安心に学校生活を送ることができるよう、教職員一同再び気を引き締めているところです。保護者、地域の皆様には、学校行事等の変更やお子様日々の健康観察、マスク着用や頻繁な手洗い等の徹底と、多々御理解と御協力をいただいております。深く感謝申し上げます。1日も早く感染拡大が終息に向かうことを願うばかりです。

突然の「秋のプレゼント」

ヒガイチに赴任してから、可能な限り、朝は校門で子どもたちを迎えられるようにしています。挨拶を交わしながら子どもたち一人ひとりの表情が見られるこのひときは、私にとってとても大切な時間となっています。

昨年度の秋のことになりますが、いつものように門に立っていると、登校してきた子が「はい！」と私に木の葉を渡して、門の中へ入っていきました。突然のことだったのでびっくりしてしまい、「あ、ありがとう！」とその子にお礼しか言うことができず、楽し気なその子の後ろ姿を見送りました。



校長室に飾ってある「秋のプレゼント」

北門と南門で一日おきに立っていますので、2日後、同じ門に立っていると、一昨日の子がまた「はい！」と美しく紅葉した葉を渡してくれました。その次に同じ門に立ったときも、やはりその子は「はい！」と色づいた葉を渡してくれます。登校中に落ち葉を見付け、「きれいだな。」と思って拾い、その美しさを私にもおすそ分けしてくれました。『秋のプレゼント』は、寒くなり葉がすっかり落ちてしまうまで続けました。葉は、赤かたり黄色かたりグラデーションになっていたりと、いつも美しいものでした。同じ登校班の子たちも、その「秋のプレゼント」の様子をほほえましく見守っていました。

自然と対話する子どもたち

朝の子どもたちの様子からは、いろいろな姿が見えてきます。生活科の栽培活動をしている時期には、毎日自分の鉢の前に佇んで、育てている植物の様子を見ている子や水やりをしている子を見かけます。水たまりができていれば、果敢にそこに入って行って「バシャッ！」という感触を楽しむ子や、水たまりを飛び越えようとする子がいます。今のような寒い時期には、池にはった氷を触る子や割る子、そして割れた氷を持ち上げてみる子と、寒さも忘れて氷と遊んでいる様子が見られます。それは まるで、植物や水といった自然との対話を楽しんでいるようです。

我々大人だったら、「汚れたらいやだな。」「寒い思いをするのは、億劫だ。」と注意深く避けてしまうようなことに、子どもたちは楽しそうに目を輝かせて挑んでいきます。いつもとは違う自然事象の面白さや美しさに惹かれ、自分から「どうなっているのだろう。」「やってみたい!」「こうしたら、どうなるかな。」「こんなこともできるのではないか。」と、どんどん発想して行動に移す子どもたちの様子は、とても素敵です。もちろん安全に気を付けてやってほしいですし、他の子の迷惑にならないように考えてほしいですが、その心配がなければあまり止めずに見守るようにしています。小さい頃からの豊かな体験や挑戦の積み重ねが、成長してもチャレンジ精神を忘れず、面白そうなことを常に探しているような知的好奇心あふれる姿へとつながっていくと思うからです。

「秋のプレゼント」の子からもらった葉はとても素敵でうれしかったので、押し葉にして校長室の机に飾っています。押し葉を見る度に、「やっぱりヒガイチの子は素敵だな。」と思います。美しい葉を渡してくれたあの子は、今は違うことに興味をもっているのでしょう。落ち葉のことなど覚えていないかのように、でも日々楽し気に登校してきます。どの子もたくさんの方に興味をもち、それをヒガイチの多くの仲間と共に楽しみながら、大きくなってほしいと思います。

今月もどうぞよろしく願い申し上げます。

寒さに負けず いろいろな力をつけるヒガイチの子どもたち！



学校保健委員会

1月18日（火）に学校保健委員会が開催されました。昨年度開催することができなかったため2年ぶりの開催となりました。今年は「抵抗力を高める食生活につて考えよう！」をテーマにし、栄養士原島先生から抵抗力を高める食生活について講義をしてもらいました。学校薬剤師の竹山先生からも朝食の重要性についてお話していただきました。

出席した児童（保健委員、4年生代表）からは「自分の嫌いな食べ物が腸活に大切な食べ物だったからこれから気を付けたい」「これから好き嫌いをしないで食べるようにしたい」「クラスに伝えてクラスみんなで元気に進級したい」など抵抗力を高めるためにどんな食品が大切なのか、たくさんの学びがありました。

幼保小交流活動

1年生は幼保小の交流として12月に幼稚園、保育園の年長さんに「小学校ここはどこでしょうクイズカード」を作成しました。小学校のことをみんなに教えてあげたいという気持ちから、お兄さん、お姉さんとしての気持ちがだんだんと芽生えるすばらしい交流となりました。感想が届くと、「お友達が入学してくる」などと、嬉しそうに読んでいました。



ヒガイチビッグショー

12月下旬～1月下旬にかけて、今年度もヒガイチビッグショーが行われました。集会委員会と放送委員会が企画し、参加希望者全員がステージ発表を行いました。ダンスや歌、楽器演奏や体操、お笑いネタなど自分の好きなことや得意なことをのびのびと発表する姿に、見に来ていた人からたくさんの拍手が送られました。会の企画や運営なども、全て委員会の子どもたちが協力して行い、楽しい集会をつくり上げることができました。1月の発表は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、急遽、録画配信になりましたが、参加した子どもたちの個性が光る素敵な発表を見ることができ大いに盛り上がりました。



3年国際交流教室

1月20日、国際交流教室で韓国の文化について教えて頂きました。国語で学習している韓国の民話「三年とうげ」の韓国語を交えた朗読や、韓国の音楽を聴かせていただいたり、食事や昔の話などについてお話していただいたりしました。終わった後、子どもたちからは、「とにかく楽しかった。」「韓国に行ってみたくなくなっちゃった。」という声が聞こえてきました。また、下校の際は「アニョハセヨ～」とたくさんの子が笑顔で帰っていきました。

